

御殿場

十字の園

(題字 鈴木生二)

2007
No.180号

12

発行/総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 上野 貢一

〒412-0023 御殿場市深沢1465の1
TEL 0550-83-1999
FAX 0550-82-5189
<http://www.jyuji.or.jp>
e-mail: info@g.jyuji.or.jp

印刷/岳麓印刷株式会社

[聖句] 喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



11月21日 秋の外出・箱根園にて

イルド

理事長 平井 章

七七歳の時に「喜寿の祝いはお金にして」と言ったので、息子四人はお祝い袋に現金を入れてプレゼントしました。それを資金にして、宝石つきブローチを作り、息子の嫁たちに記念として贈ったのです。喜寿の祝いをすると長生きできないからとの理由でした。

八五歳になった時に「米寿の前倒しで地デジが欲しい」と言ったので、誕生日に地上デジタルテレビをプレゼントしました。八八歳ではもう楽しめないからとの理由でした。

来年四月の米寿の前に、先日電話が入りました。「米寿の祝いは、家族皆が集まり、私の友達も呼んで、幸雄ちゃん(長男)の落語を聞く会を計画したい。会場手配からすべて自分でやるから」とのことです。辛い時も悲しい時もありました。今は趣味やボランティアで忙しい毎日を送っています。

前向きで明るい生き方は、皆の目標になっているようです。私の自慢の母の話でした。

当事者の声

御殿場十字の園 施設長 上野 貢 一

御殿場十字の園は、高齢者部門ほど規模は大きくありませんが、障害者地域活動支援センターを始め、居宅介護、短期入所、相談支援事業等の障害者事業を行っています。そのこともあって、御殿場市の障害者福祉計画の改訂に伴い、依頼を受け、委員会に参加をしています。御殿場市は、平成十年から第一期五年で、御殿場市障害者福祉計画「共に生きる福祉の街づくりプラン」を作成して来ましたが、今、第三期平成二十年から二十五年までの計画を、七月から、御殿場市障害者計画策定小委員会の委員長として、かわらせていただいています。小委員会は二十二の障害福祉に関わる団体から推薦された委員で構成されています。十一月に第二回の小委員会が行われましたが、その時、当事者のアンケート、各団体のアン

ケート結果が報告されました。当事者のアンケートは、一千百人を対象に有効回収率五十七%。本人記入、本人の意見を家族や介助者が記入、本人の意思を考えながら家族や介助者が記入という形で行われました。市内の障がい者の声として、どうい

うことが問題として感じているのか。自分なりに少し理解できたように思います。ある委員から、アンケート対象外の障がい者のことも考慮に入れて欲しいという意見もありました。「踊る大捜査線」というテレビ番組がありました。後に、映画にもなりました。その中で、主人公が「事件は、現場で起こっている」と、言っていたことを思い出します。地域の中で障がい者と健常者と共に暮らす優しい町になる為に、計画はへたをす

職員勉強会

「インフルエンザ」

看護主任 杉山 潔



団発生がおきることもある事を考え、インフルエンザについての職員勉強会を十一月六日に行ないました。七十二名が参加し基礎を学びましたのでこの場をかりて、一部を紹介させていただきます。

高齢者介護施設は、感染症に対する抵抗力が弱い高齢者が、集団で生活する場です。このため、感染が広がりやすい状況にあることを認識しなければなりません。感染自体を完全に、なくすことは出来ない事をふまえ、少しでも感染を最小限にする事が大切であることから、職員が感染に対する正しい基礎知識を把握する事が、大変に重要な事と思えます。これらをふまえ、インフルエンザやノロウイルスなど、これからの季節は集

す。

インフルエンザは、感染力が非常に強いことから出来るだけ、ウイルスを施設内に持ち込まない事が感染防止の基本となります。その為には、職員、家族、施設への出入りする方々の健康管理が大切です。うがい、手洗いの励行、マスクの使用も重要です。風邪症状のある方の面会は控えてもらう事や、インフルエンザ流行中の外出、外泊も注意が必要です。湿度も大切であり、施設でも数十台の加湿器が可動しています。ワクチン接種も大切であり、職員も、ほぼ全員接種し、利用者の方々も御家族の同意のもと全員が接種しております。昨年度は、一名の方がインフルエンザに感染しましたが、感染の拡大もなくすみました。これから、感染防止、拡大防止に努めていきたいと思えます。また十二月五日、十二日には、ノロウイルスの勉強会を予定しております。みなさま方の御協力これからもよろしくお願ひします。

ると、現場から遊離したものに
なりかねません。障がい者が
どんなことを心配しているの
か。これからどんなサービスが
必要なのか。当事者のことを第
一に考えなければならぬでしょ
う。家族や介護者が、どう感
じているのか。そのこともと
ても大切なことです。市民の
理解、専門医療機関、情報、
道路整備、親の亡き後の生活
移動手段、就労等の問題が上
がっていました。どれをとっ
ても大切な問題です。御殿場
十字の園の役割も問われます。
当事者本位という考えは、御
殿場十字の園のすべての事業
にも言えることです。施設から
見るのではなく、地域から、
利用者から、施設を見た場合、
施設は、利用者のニーズに
答えているのだろうか。いつ
しか、離れてしまつて、施設
の満足になつていないだろ
うか。そのことをいつも危惧
しています。



中で、土田セイ看護師の描いた絵に、文章を添えておられますが、その中に昔ばなしというのがあります。「お年寄り、くり返しくり返し昔ばなしをいたします。聞く方は、忙しいものから、ついいいかげんに聞き流してしまいますが、お年寄りにとつて、この昔ばなしは大切な心の療法の道だそうです。長い人生の道で拾つた、石ころのよな思いでも、それを今にもどして、なでたりさつたりして、自分の生きてきた過去をたしかめているのでしよう。」当事者の声に、謙虚に耳を傾ける大切さを感じるのです。

〈在宅福祉便り⑳〉
十字の園大会に参加して
御殿場デイサービスセンター 相談員 宮地 秀明

十月二十四日、二十五日に浜松で十字の園大会が行われました。

十字の園大会とは、県内にある浜松十字の園、松崎十字の園、伊豆高原十字の園、御殿場十字の園、伊東市立養護老人ホーム、浜松アドナイ館の六つの施設が集まり、施設発表をしたり、講師の方を呼んで基調講演をもらったりして、年に一回各施設持ち回りで開催している大会です。

施設間での交流ができた、講師の方のお話が開けたり、とても参考になります。

今回の十字の園大会は「その人らしくを支えるケアとは……地域」というテーマで行われ、一日目に講師の方の講演を聞きました。講演の内容は、福祉施設職員のあり方や、利用者の方の心の支えになるにはどうしたらよいか等、講師の方の経験や考え方を話していただきました。お話しを聞くことで、自分のサービスの仕方を見つめなおしたり、利用者の方との接し方を考えた職員も少なくなかったと思います。

二日目には、各施設の施設発表を行いました。発表内容は各施設違いますが、どの施設も利用者の方に満足してもらえらるためにどうしているかが望ましいのか、どんなサービスを行えば利用者の方が満足してくれるのかということを考えていた発表内容だったと思います。

御殿場十字の園の発表は、「デイサービスで介護予防が始まり、一年半が過ぎた中で見えてきたもの」というテーマで行いました。介護予防が始まり、試行錯誤を繰り返しながら一年半を迎えましたが、その中で見えてきたいい面や悪い面を振り返る作業をし、今後どのようにしていけば利用者の方に満足していただける



のかということや、デイサービスに求められていることはどのようなことなのかということを発表しました。

年に一回の十字の園大会は、各施設が集まるため、意見交換や情報交換ができる貴重な時間です。一泊二日という短い時間ですけれども、その中で得ることはたくさんありました。講師の方のお話や各施設の発表を聞いて学んだことを、それぞれが各施設へ持ち帰り、参加出来なかった職員へ伝えたり、利用者の方へのサービスに繋げることができればとても意義のある大会だと思えます。今後このような機会を通し、利用者の方に満足していただけるサービスについて考えていきたいと思えます。

秋の外 出

ひばりグループ



サファリパークに出掛けてきました。迫力のあるライオンや、車の前を横切るキリンに皆大興奮でした。

秋は外出には絶好の季節です。秋になると各グループ（ユニット）ごとに十名ほどのメンバーで色々なところに出かけます。箱根に行つて紅葉を眺めたり、または沼津まで出かけて食欲の秋を堪能するなど利用者の方々は思い思いの秋を楽しんでこられました。

特別養護老人ホームの方々は外出する機会がなかなかないので、少しでも楽しい思い出を作つていただけたら幸いです。

ひまわりグループ



秩父宮邸へ行き、お昼はレストランで好きなものを食べてきました。帰りの車の中から虹が見え感動しました。

ちどりグループ



私たちのユニットでは沼津へネギトクを食べに行きました。また、千本浜で車から降り、海を眺めながら利用者、職員共々のんびりとした時間を過ごすことができました。

すみれグループ



すみれグループは、富士サファリパークに行ってきました。トラやライオンを見て皆興奮していました。

うぐいす・カナリアグループ



箱根水族館に行ってきました。風は冷たかったけどきれいな紅葉と魚たちに大満足な一日でした。



鍋で頂きました。カボチャの甘味と「ほうとう」にこしが有り、美味でした。

十一月十四日(水)

「紅葉ドライブ」

河口湖紅葉まつり会場・久保田一竹美術館・河口湖一周をして来ました。写真は山梨名物の「ほうとう」です。こんなに大きな鍋で頂きました。

園芸クラブで栽培していたさつまいもを入居者八名、職員三名で収穫しました。入居者のMさんは「童心に帰って、とても楽しいものだ」と話されました。収穫したさつまいもは利用者全体の職員で頂きました。



ケアハウス

御殿場アドナイ館

入居者の様子 ⑳

十月十一日(木)

「さつまいも掘り」

〈ボランティア紹介〉

書道ボランティアに参加して

隆生会 三井寿子

毎月二回の書道ボランティアを始めて五年半程になります。私達が訪問する頃はすでに熱心に稽古をされています。家で練習して来る方もおります。何枚も何枚も挑戦して書き上げた中の一枚を、職員の方が廊下に展示しております。最近では好きな言葉を書いたり、俳句や詩の一節を書いたり、楽しんで書いております。何も他の事は考えず只ひたすら全神経を集中させ書いている姿に感動致します。味わいのある表現は、それぞれの人生と重ねてまいります。



私達はほんの少しのお手伝いです。上手に書きたいと思う気持ちは皆同じです。でもそれ以上に楽しんで表現出来るその人だけの書に、一人でも多く参加して欲しいなと思っています。

毎年十一月に開催される隆生書道会の展覧会には、皆様の力作の書を展示させて頂いております。

職員の方々と一緒に見に来て下さり、本当に嬉しく思っております。これからも皆様と笑ったり、話したりしながら楽しく続けて行けたらと思います。どうぞこれからもよろしく願います。

ユニット日記

家族懇親会を終えて

介護長 沓間 昭子

今回は三回目の懇親会で、新しい試みとして、利用者と一緒に昼食をはさんでの会を計画しました。

これはゆっくりと利用者との時間を過ごして頂きたいとの思いと、前回の終了時に外は薄暗くなり、御家族の方の帰路を案じましての計画です。まず施設長の挨拶により「より質の高いサービスの提供を目指して」のお話から始まりました。そして今回は、介護支援専門員からサービ担当者会議についての説明をさせて頂きました。改めて時間をかけて聞きたいとの声がありましたので、検討していきます。その後、職員紹介をさせて頂き、それぞれユニットに移動しました。

利用者として御家族一緒のテーブルで和やかに話したり、楽しみながら食へられた方、又職員の食事介助をしている光景を見て「大変な仕事だなあ、ありがたいです」とねぎらいの言葉がありました。



いよいよユニット毎の懇親会です。職員もじっくりと向き合いお話をする事もあまりないので、若い職員も緊張感がありました。その中で、賑やかに場を盛り上げて下さる御家族や、真剣に自分達の歩む道を悩んだり、「家族のようにして頂き感謝の気持ちでいっぱいです」と言われた方、そして一番に残った事は、利用者Aさんの御主人のお話です。

御主人が息子に「母さんのところに面会に行くように」と言うと、「母さんに会うのが辛い、だから行かない!!」と言われたと涙ながらに話されていました。その場に同席した職員もとても複雑な心境だったと思います。やはり、誰もがいつまでも元氣な御両親の姿を見ていたいと思います。が、老いていく現実を認めたくないが、人間誰しも老いを避けて通れない道であり「老いを知る」努力も必要かな」と介護する立場として改めて考えさせられました。ユニットによっては、御家族同士が意気投合して和気あいあいと時間を過ごしていました。

最後に毎年恒例ですが、今回もアンケートに答えて頂きました。懇親会の時間や曜日等は、ほぼ問題ないとの御意見でした。また、今回初めての試みとしての昼食は、大好評でした。居室やホールの環境や職員の対応に対してはそれぞれ満足しているとの言葉を頂きました。

多くの御家族に出席して頂くには、どうしたらよいか関係者一同で検討し、次回にはもっと盛会に終える事が出来る様になりたいと思います。御家族の方が来たい時に来て、居たいだけ居れる雰囲気づくりを職員一同で心掛けております。

献金下さった方々

敬称は略させていただきます

9月分

米山武義、野田つや子、八木正平、安藤文知子、高村せつ子、小宮山光文、小宮山ふみ、小宮山亨、福島正昭、小松保、鈴木顕、岩渕年子、山崎よし子、石川吉恵、乾英子、鈴木フミ、御殿場市社会福祉協議会、澤田龍子、遠藤てい子、堀順子、宮内みゆき

10月分

林眞、内海剛、加藤喜美子、勝又敬子

11月分

勝俣タミ、富士社会教育センター、水澤タツ、御殿場シエル石油、上野静子、西村正子、尾崎正夫、小曾根節子、森田恭一郎、横山眞人、先崎

御殿場十字の園 支える会

9月分 21件 284,000円
10月分 4件 114,000円
11月分 13件 135,000円

4~11月分 累計
89件 997,529円

ご献金、ご献品心より
感謝申し上げます。

郵便振替口座
00110-9-98996
御殿場十字の園
支える会

ご連絡下されば振替用紙
をお送りいたします。

峯雄、八木光作、長田喜芳

協力ボランティア

9月

みくりや友の会 山口範子
厚生年金婦人部 隆生会書道
御殿場市赤十字奉仕団、鈴の
会 田代順子 ミモザの会
市婦連福祉グループ 市野は
つ シヤマム池谷 木洩れ
日朗読の会 隆生会琴 勝又
静江 芹澤菊枝 A K I美容
室 御殿場教会 なでしこ会
しきなみ短歌の会 太極拳カ
ツマタ 井村弘子 野菊寮
高村恵子 杉山和子 神保久
美子 白倉たえ子 勝又町子

10月

みくりや友の会 シヤマム
池谷 厚生年金婦人部 御殿
場市赤十字奉仕団 隆生会書
道 ミモザの会 田代順子
市婦連福祉グループ A K I
美容室 ビューティサロン山
田 中野美代子 なでしこ会
市野はつ 勝又静江 芹澤菊
枝 山口範子 御殿場教会
印野はざまの会 井村弘子
野菊寮 高村恵子 杉山和子
太極拳カツマタ 宮下宗之

11月

渡邊弘子 中里京子 木洩れ
日朗読の会 若葉会 田辺良
子 東山婦人会 勝又町子
不二聖心母の会 鈴の会 不
二聖心中学生 高根婦人会 O
B会 アニマルセラピー 高
根中学生
みくりや友の会 山口範子
厚生年金婦人部 隆生会書道
御殿場市赤十字奉仕団 田代
順子 ミモザの会 市婦連福

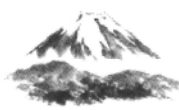
生会 菅原幸和 不二聖心母
の会 御殿場大正琴 高根婦
人会 O B会 高根さわやか部
会 小山高校生 高根中学生

社グループ 市野はつ 木洩
れ日朗読の会 隆生会琴 勝
又静江 芹澤菊枝 ビューテ
ィサロン山田 中野美代子
A K I美容室 御殿場教会
なでしこ会 しきなみ短歌の
会 太極拳カツマタ 高村恵
子 白倉たえ子 神保久美子
野菊寮 杉山和子 渡邊弘子
宮下宗之 中里京子 車椅子
ダンスの会 東山婦人会 深
沢婦人会 鈴の会 不二聖心
中学生 社会富士教育センタ
ー 田辺良子 山口光子 シ
ヤマム池谷 しょうえい幼
稚園 勝又町子 中村孝信

不二聖心母の会 菅原幸和
高根婦人会 O B会 高根さわ
やか部会 高根中学生

あとがき

寒さも厳しくなり、富士山も、すっかり雪に覆われてしまいました。今年一年の反省をしつつ、来年に向かってがんばっていききたいと思います。(宇佐美)



空き家を
探しています

逆デイサービスを行って5年になります。その中で、感じたことは、環境が人間に与えるすごさです。民家で過ごす安らぎや安心感。会話が弾み素敵な笑顔を沢山見ました。地域の中で空家があれば、デイサービスを等を行ない、職員が寄り添う家庭的な暮らしの中で、利用される方の素敵な笑顔が見れると思っています。出来れば、市内御殿場圏域で探しています。

